

令和3年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況）

農林水産省は、本日、令和3年産における各都道府県の主食用米、戦略作物等の作付意向について、第3回中間的取組状況（令和3年6月末時点）を取りまとめました。

1. 趣旨

農林水産省では、産地・生産者が主体的に作付を判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、きめ細やかな情報提供を行うこととし、その一環として、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向（中間的取組状況）を公表しているところです。

この度、第3回中間的取組状況として、都道府県別の6月末時点の作付意向を公表します。2年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、6月末時点では、減少傾向41県、前年並み傾向6県、増加傾向0県と見込まれており、減少傾向とした県のうち、「1～3%程度減少傾向」は17県、「3～5%程度減少傾向」は12県、「5%超の減少傾向」は12県と見込まれています。4月末時点に比べると「5%超の減少傾向」とした県は2県から12県と大幅に増加しています。

また、6月末時点の作付意向を集計した結果、全国の主食用米の作付面積は、前年比で約6.1万ha程度減少すると見込まれます。一部の地域農業再生協議会で認められている期限後修正の特例措置や、水田面積の減少等も考慮すると、各都道府県における作付転換が計画どおりに進めば、最終的には約6.2～6.5万ha程度の減少が見込まれます。

なお、加工用米は22県、新市場開拓用米（輸出用米等）は20県、飼料用米は41県が増加傾向と見込まれます。

2. 都道府県別の作付意向（令和3年6月末時点）

（1）各都道府県の主食用米の作付意向

令和2年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、以下のとおりと見込まれています。

減少傾向41県/前年並み傾向6県/増加傾向0県

減少傾向とした県の内訳は、以下のとおりです。

1～3%程度減少傾向17県/3～5%程度減少傾向12県/5%超の減少傾向12県

（2）各都道府県の戦略作物等の作付意向

令和2年産実績との比較による各都道府県の戦略作物等の作付意向は、以下のとおりと見込まれています。

ア.加工用米

増加傾向22県/前年並み傾向5県/減少傾向17県

イ.新市場開拓用米（輸出用米等）

増加傾向20県/前年並み傾向3県/減少傾向15県

ウ.米粉用米

増加傾向31県/前年並み傾向3県/減少傾向11県

エ.飼料用米

増加傾向41県/前年並み傾向1県/減少傾向3県
オ.WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）
増加傾向32県/前年並み傾向7県/減少傾向6県
カ.麦
増加傾向26県/前年並み傾向7県/減少傾向12県
キ.大豆
増加傾向28県/前年並み傾向7県/減少傾向10県
ク.備蓄米
増加傾向12県/前年並み傾向7県/減少傾向15県

3. 地域農業再生協議会別の作付意向（令和3年6月末時点）

地域農業再生協議会別の作付意向の詳細については、以下をご覧ください。

ア.北海道（<https://www.maff.go.jp/hokkaido/syokuryo/jyukyu.html>）
イ.東北ブロック（https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/komeseisaku/sakutuke_doko.html）
（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）
ウ.関東ブロック（<https://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeseisaku/sakudou.html>）
（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・静岡県）
エ.北陸ブロック（<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/kaikaku/sakudou.html>）
（新潟県・富山県・石川県・福井県）
オ.東海ブロック（<https://www.maff.go.jp/tokai/seisan/shinko/kome/sakutsuke/index.html>）
（岐阜県・愛知県・三重県）
カ.近畿ブロック
（https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/inemugi/sakutukedoko/sakutuke_doko.html）
（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）
キ.中国四国ブロック（https://www.maff.go.jp/chushi/kome/saku_dou.html）
（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）
ク.九州ブロック（<https://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/komeseisaku/komeseisaku.html>）
（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県）
ケ.沖縄県（外部リンク）
（<http://www.ogb.go.jp/nousui/nouchiku/6610/6613/006614/sakudou>）

添付資料

令和3年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況（令和3年6月末時点））

【お問合せ先】

農産局企画課水田農業対策室
担当者：木村、村松、久野
代表：03-3502-8111（内線4778）
ダイヤルイン：03-6744-7135

令和3年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況（令和3年6月末時点）） ①

- 2年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、6月末時点では、減少傾向41県、前年並み傾向6県、増加傾向0県。
- 減少傾向とした県のうち、「1～3%程度減少傾向」は17県、「3～5%程度減少傾向」は12県、「5%超の減少傾向」は12県となり、4月末時点と比べて、「5%超の減少傾向」とした県は2県から12県へ大幅に増加。
- 6月末時点の作付意向を集計した結果、全国の主食用米の作付面積は、前年比で約6.1万ha程度減少すると見込まれる。一部の地域農業再生協議会で認められている期限後修正の特例措置や、水田面積の減少等も考慮すると、各都道府県における作付転換が計画どおりに進めば、最終的には約6.2～6.5万ha程度の減少が見込まれる。

参考：4月末時点からの主な変化

主食用米：減少38県→41県（うち5%超減少2県→12県）、新市場開拓用米：増加17県→20県、飼料用米：増加38県→41県

【令和3年産米等の作付意向（2年産実績との比較、令和3年6月末時点）】

	主食用米			戦略作物							備蓄米
				加工用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	麦	大豆	
前年より 増加傾向	0県			22県	20県	31県	41県	32県	26県	28県	12県
前年並み 傾向	6県			5県	3県	3県	1県	7県	7県	7県	7県
前年より 減少傾向	41県	1～3%	17県	17県	15県	11県	3県	6県	12県	10県	15県
		3～5%	12県								
		5%超	12県								

注1：令和3年産の意向（増加傾向、前年並み傾向、減少傾向）は、2年産実績との比較。
 2：比較している主食用米の2年産実績は、令和2年12月統計部公表の主食用作付面積。
 3：加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の2年産実績は、取組計画認定面積。
 4：麦・大豆の2年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
 5：備蓄米の2年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

令和3年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況（令和3年6月末時点）） ②

(ha)

都道府県	主食用米				戦略作物												備蓄米			
	2年産実績	3年産意向(対前年実績)			加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆		2年産実績	3年産意向 (対前年実績)
		6月末時点 (今回公表)	4月末時点 (前回公表)	1月末時点 (前々回公表)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)		
全国計	136.6万				45,208		6,089		6,346		70,883		42,791		98,182		85,083		36,503	
北海道	95,300	↓↓↓	↓↓	→	5,858	↑	635	↑	51	↑	1,865	↑	574	↑	33,616	↑	18,500	↑	389	→
青森	38,300	↓↓↓	↓↓	↓	821	↑	255	↑	5	↑	4,403	↑	666	→	598	↓	4,320	↑	5,865	↑
岩手	48,200	↓↓	↓	↓	1,104	↑	244	↑	71	→	3,589	↑	1,758	↑	3,348	↓	3,531	↑	687	↓
宮城	64,500	↓↓↓	↓	↓	707	↓	636	↑	145	↑	4,913	↑	2,070	↑	1,662	↑	9,171	→	2,319	↓
秋田	75,300	↓↓↓	↓↓	↓	7,850	↑	289	→	454	↓	1,574	↑	1,107	→	173	↓	7,930	↑	3,689	↑
山形	56,500	↓	↓	↓	3,895	→	250	↑	128	↓	3,192	↑	930	↑	69	↑	4,562	↓	3,877	↓
福島	59,200	↓↓↓	↓↓	→	424	↓	41	↓	5	↑	4,933	↑	952	↑	300	↑	669	↑	5,568	↓
茨城	65,500	↓↓↓	↓	→	1,351	↓	622	↓	37	↑	7,886	↑	535	↑	4,317	→	427	↓	258	↑
栃木	54,900	↓↓↓	↓↓↓	↓	1,912	↓	106	↓	811	↑	8,341	↑	1,614	↑	6,902	↑	295	↑	1,399	↑
群馬	13,600	↓↓	↓	→	1,309	↑	14	↓	325	↑	959	↑	514	↑	2,053	↓	88	↑	247	↓
埼玉	30,600	↓↓↓	↓	→	124	↑	32	↑	923	↓	1,246	↑	118	↓	1,718	↑	331	↑	137	↓
千葉	52,500	↓↓↓	↓	↓	1,438	↑	12	↑	72	↑	3,822	↑	933	↑	454	↑	290	↑	1,391	↓
東京	124	↓	↓	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,990	→	→	→	-	-	-	-	-	-	10	↑	-	↑	4	↑	6	↑	-	-
新潟	106,700	↓↓↓	↓↓	↓	5,056	↑	1,134	↑	1,695	↑	1,876	↑	370	↑	171	↓	3,760	↑	4,731	↓
富山	33,200	↓↓	↓	↓	1,007	↑	263	↑	120	↑	1,297	↑	449	→	2,915	↑	3,513	↓	2,487	↓
石川	22,600	↓↓↓	↓	↓	404	↓	297	↓	125	↑	548	↑	92	↑	904	↑	847	↑	1,288	↑
福井	23,300	↓↓	↓	↓	443	↓	279	↓	169	↑	1,073	↑	107	→	4,679	↑	106	↑	812	↑
山梨	4,800	→	→	→	68	↑	-	-	8	↑	19	↓	14	↑	52	→	97	→	-	-
長野	30,700	↓	→	→	663	↓	114	↑	22	↓	228	↑	204	↑	2,332	↑	509	↑	224	↑
岐阜	21,400	↓↓	↓	↓	962	↓	73	↑	30	↑	2,271	↑	205	→	3,336	→	360	↓	69	↑
静岡	15,400	↓	↓	→	138	↑	1	↓	1	↑	1,033	↑	240	↑	230	↑	38	↑	4	→
愛知	26,400	↓	↓	→	601	↓	26	↑	87	↓	1,298	↑	169	↓	5,245	→	107	↑	325	↓
三重	26,700	↓↓	↓	→	181	↑	82	↓	96	↓	1,586	↑	253	↑	6,531	↑	306	↑	-	↑

(注1) 主食用米の「3年産意向(対前年実績) (1月末時点)」、戦略作物及び備蓄米の「3年産意向(対前年実績)」は、2年産実績と比較し、「↑:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↓:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「3年産意向(対前年実績) (4月末時点及び6月末時点)」は、2年産実績と比較し、「→:前年並み傾向」、「↓:1~3%程度減少傾向」、「↓↓:3~5%程度減少傾向」、「↓↓↓:5%超の減少傾向」で分類。

(注3) 主食用米の「2年産実績」は、2年12月統計部公表の主食用作付面積。

(注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「2年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「2年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

(注5) 備蓄米の「2年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

令和3年産米等の作付意向について（第3回中間的取組状況（令和3年6月末時点）） ③

(ha)

都道府県	主食用米				戦略作物												備蓄米			
	2年産実績	3年産意向(対前年実績)			加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆		2年産実績	3年産意向 (対前年実績)
		6月末時点 (今回公表)	4月末時点 (前回公表)	1月末時点 (前々回公表)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)		
滋賀	29,700	↓	↓	↓	783	↓	195	↑	28	↑	1,096	↑	251	↑	7,436	→	441	↑	296	↓
京都	13,800	↓	↓	→	492	↑	21	↑	7	↑	95	↑	117	↑	235	↑	231	→	-	-
大阪	4,700	↓	↓↓	↓	0	↑	-	-	5	→	7	↓	-	-	3	↑	6	↓	-	-
兵庫	34,800	↓	↓	→	749	→	68	↑	43	↓	299	↑	797	↑	1,837	↓	1,478	↑	-	-
奈良	8,430	→	→	→	21	→	0	↓	29	→	27	↓	36	→	61	→	20	→	-	-
和歌山	6,250	↓	↓	→	-	-	-	-	1	↓	2	→	2	↓	3	↑	14	↓	-	-
鳥取	12,800	↓	↓	↓	17	↑	5	→	1	↑	517	↑	323	↑	31	↓	570	↑	79	→
島根	16,800	↓	↓	→	318	↓	2	→	9	↑	682	↑	571	→	277	↓	574	↑	25	→
岡山	28,900	↓↓	↓	↓	377	↓	109	↑	88	↑	1,074	↑	334	↑	1,197	↑	1,071	↑	103	↑
広島	22,000	↓	→	→	364	↓	60	↓	124	↓	293	↑	549	↑	280	↑	255	↓	4	↓
山口	17,800	↓	↓	→	912	↑	122	↓	22	↑	900	↑	345	↓	711	↑	747	↑	-	-
徳島	10,700	↓↓↓	↓↓↓	↓	18	↑	46	↓	12	↑	558	↑	209	↑	53	↑	6	↑	114	↑
香川	11,600	↓↓	↓	↓	39	→	6	↓	7	↑	129	↑	131	↑	1,077	↑	48	↑	-	-
愛媛	13,300	→	→	→	76	↓	-	-	2	↑	230	↑	150	↑	517	→	320	→	-	-
高知	11,200	↓	→	→	68	→	-	-	15	↑	859	↑	239	↑	5	↓	59	→	2	→
福岡	34,400	→	→	→	212	↑	9	↓	281	↑	1,886	↑	1,517	↑	1,180	↓	7,898	↓	23	↓
佐賀	23,400	↓	↓	→	390	↓	6	↓	23	↑	603	↑	1,523	↑	180	↑	7,619	↓	44	→
長崎	11,000	↓↓	↓↓	→	9	↑	2	↑	6	↓	111	↑	1,244	↑	93	↓	317	↓	2	↓
熊本	32,300	↓↓	↓	→	748	↑	17	↑	222	↑	1,135	↑	7,852	↑	738	↑	2,003	↑	22	↑
大分	20,000	↓	↓	↓	156	↓	-	-	12	↑	1,355	↑	2,526	↓	590	↓	1,195	↑	18	→
宮崎	14,300	↓↓	↓	→	1,642	↑	16	↑	17	↓	412	↑	6,656	↑	13	↑	204	→	3	↓
鹿児島	17,800	↓↓	↓↓	→	1,480	↓	1	↑	10	↑	653	↑	3,542	↓	57	↑	246	↑	-	-
沖縄	630	→	→	→	19	↑	-	-	1	↑	-	-	3	↑	-	-	-	-	-	-

(注1) 主食用米の「3年産意向(対前年実績)(1月末時点)」、戦略作物及び備蓄米の「3年産意向(対前年実績)」は、2年産実績と比較し、「↑:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↓:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「3年産意向(対前年実績)(4月末時点及び6月末時点)」は、2年産実績と比較し、「→:前年並み傾向」、「↓:1~3%程度減少傾向」、「↓↓:3~5%程度減少傾向」、「↓↓↓:5%超の減少傾向」で分類。

(注3) 主食用米の「2年産実績」は、2年12月統計部公表の主食用作付面積。

(注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「2年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「2年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

(注5) 備蓄米の「2年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。